

BUDŌ

NEWS

今月のニュース



第 43 回日本古武道演武大会



第43回日本古武道演武大会



為我流派勝新流柔術

武道の源流の伝統奥義を披露

第43回日本古武道演武大会（主催
日本武道館、日本古武道協会）が
2月2日、古武道35流派234名が集ま
り、2千名の観衆が見守る中、今年
は毎年会場となっている日本武道館
が増改修工事のため、初めて東京武
道館で開催された。

大会では全国各地に脈々と受け継
がれている奥義を各流派が披露。観
客は気迫のこもった演武に魅了さ
れ、日本古武道の歴史と伝統の奥深
さに想いを馳せた。

午前10時30分より開会式が行われ
た。はじめに、三藤芳生日本武道館
常任理事兼事務局長・日本古武道協
会常任理事が開会を宣言。国歌斉唱
に続いて、高村正彦日本武道館会
長・日本古武道協会会長が主催者挨拶に立った。

「日本古武道演武大会を全国各地の
35流派の皆さまのご参集のもと、盛
大に開催できましたことを大変あり
がたく思います。皆さまが全国各地
でそれぞれの流派の保存・継承のた
めに日夜努力されていることに心か
ら感謝申し上げる次第です。古武道
は、古の武士たちが『心技体』を鍛



三藤芳生日本武道館常任理事兼事務局長・日本古武道協会常任理事



臼井日出男日本武道館理事長・日本古武道協会理事長



高村正彦日本武道館会長・日本古武道協会会長



古武道功労者表彰
左から小川武代表、高村会長、光廣勝人氏



大会には 2000 名の観客が詰めかけた

「令和の時代に入って初めての記念すべき古武道演武大会に35流派の皆さまにお集まりいただき、盛大に開催できますことを大変嬉しく思います。本来この行事は日本武道館で開催されますが、今年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、現在増改修工事中です。やがて皆さまに完成した素晴らしい姿を披露できると思いますので、ご期待ください。日本の武道は国際社会において非常に高い関心を集めております。」

えると共に武士道精神の体得のために修練されたものであり、現代武道の源流をなすものでもあります。平成の時代が中学校武道必修化をはじめとして現代武道が復活した時代であったとすれば、令和の時代は、古武道が国民に広く評価され、そして多くの国民が日本の誇るべき文化として尊敬する時代になりたいと考えております。今日の大会を大成功に導いていただくために皆さまのより一層のご健闘を心からお祈りいたします」

続いて大会委員長の臼井日出男日本武道館理事長・日本古武道協会理事長が挨拶した。

スポーツ庁では日本の伝統文化である武道を海外に発信する政策として「武道ツーリズム」を推進しております。外国の皆さんに来日していただき、古武道をはじめとする日本の武道を経験していただく取組です。古武道は全国に77流派存在しています。この取組は皆さま方の力によるところも大きいと確信しています。今後ともご支援よろしく願っています」

最後に来賓紹介と萩生田光一文部科学大臣の祝電が披露され、開会式は終了した。



引き続き、古武道功労者表彰式が行われた。日本古武道協会は、協会加盟流派の中から古武道の保存・振興に長年寄与した個人を毎年表彰している。栄えある令和元年度古武道功労者には、波止成徳神道夢想流杖術代表と小川武神道無念流剣術代表が選ばれた。式典では高村正彦会長より、光廣勝人氏（波止氏代理）と小川代表に表彰状と古武道功労章が授与された。

（※128・129頁に功労者の喜びの声を掲載）



③③小野派一刀流剣術



①⑥二刀神影流鎖鎌術



②⑤鹿島新當流剣術



①⑨神道無念流剣術



①④柳生心眼流體術

(※写真の○数字は演武順)

その後も各流派が歴史の中で継承されてきた奥義を次々と披露する。円心流居合据物斬剣法では、演武の初めに増本孝和五代宗家が巻藁を一刀両断にする「十文字」を披露。増本氏は「十文字」では巻藁を切った後、藁が富士山の形になることが理想」と説明した。この後の演武者も迫力のある太刀筋を披露。増本氏は流派について「本流派は、斬る技だけでなく、突く技も重要視しています。形の中に突き技が多くある

演武始めは、小笠原流弓馬術による百々手式。本儀式は祈願・魔性退散や祝事・祭事の際に行われる。今年度は東京オリンピック・パラリンピックの成功と日本古武道協会の隆盛の祈願と共に、昨年の台風15号・19号の被災地の復興を祈願して行われた。演武は5名の射手により順次雨垂れ拍子に的に向かって矢が放たれた。次は古武道功労章を受章した波止成徳氏が代表を務める神道夢想流杖術。演武者は連続して突きや払いなどを左右等しく繰り出し、相手の動きに応じた素早い体捌きを見せ、観客も真剣な様子で演武を見つめていた。



①小笠原流弓馬術



②4氣樂流柔術



⑦天道流薙刀術



②9立身流兵法

ことが特徴です」と述べていた。

終盤には戸田派武甲流薙刀術が演武した。本流派の参加は第33回大会以来10年ぶり。建入久代宗家によると「本流派は戦国時代から始まっています。本来は甲冑を着用して戦場で薙刀を操ることを想定した武術のため、威嚇のような掛け声と共に一方向だけでなく様々な方向に激しく技を繰り出すのが特徴です」という。その言葉通り、演武では力強い掛け声を響かせながら四方八方に素早い体捌きを披露した。

演武納めは森重流砲術。初めに青木孝代表師範が、本来、神前・貴人の前で行う礼射である「居放」を披露。続けて短時間に発砲を繰り返す「早放」、最後に横一線に並んだ7人の演武者が青木代表師範の号令に合わせ防衛射撃を行う「備打」を披露し、全ての演武が終了した。演武後、会場から感嘆の声と割れんばかりの拍手が沸き起こった。

硝煙が立ち込める中、内田康介日本古武道協会理事兼事務局長が閉会を宣言し、大会は盛会裏に終了した。



③杖法タイ捨流



②神道夢想流杖術



①直心影流薙刀術



④澁川流柔術



③尾張貴流槍術



②野田派二天一流剣術



②⑥ 荒木流軍用小具足



⑥ 初實剣理方一流剣術



③① 鐘捲流拔刀術



③② 和道流柔術拳法



⑩ 雲弘流剣術



⑨ 貫心流居合術



⑪ 宝蔵院流高田派槍術



⑤ 水鷗流居合剣法・正木流鎖鎌術



⑫ 卜傳流剣術



⑳ 長谷川流和術



③① 戸田派武甲流薙刀術



②① 大東流合気柔術琢磨会



⑦ 金硬流唐手・沖縄古武術



⑬ 竹内流柔術日下捕手開山



⑧心月無想柳流柔術



②糸洲流空手



⑱円心流居合据物斬剣法



⑮鹿島神傳直心影流剣術



大会会場となった東京武道館



③森重流砲術

出場流派・演武者一覧（演武順）

- ①小笠原流弓馬術
小笠原清忠、小笠原清基、鎌形佐知夫、星野達郎、田丸達男、佐藤昌二、飯島陽一、星野真理子、宇田川照子、鎌形雅子
- ②神道夢想流杖術
齋藤勝彦、庄子都代子、小橋進、関展秀、田中慎一郎、河村豪祐
- ③兵法タイ捨流
上原エリ子、山本隆博、田添信一郎
- ④澁川流柔術
吉野明嗣、村井道由、東英章、南谷洋行
- ⑤水鷗流居合剣法・正木流鎖鎌術
勝瀬善光、勝瀬文孝、深澤博之、池田育生
- ⑥初實剣理方一流剣術
植月求、植月重幸、正木英登
- ⑦金硬流唐手・沖縄古武術
早坂ゆかり、早坂義文、大村朝洋、江幡妙子、佐々木透
- ⑧心月無想柳流柔術
岩永源三郎、吉岡勝子、桑波田秀祐、八島和雄、井上優一郎、奥村宗一郎、仲尾昭二、石津圭広、山本公子
- ⑨貫心流居合術
松本秀邦、安達喜久雄、守山健三、米山正行、桐山優子、上田峻平
- ⑩雲弘流剣術
井上弘道、井上照貴
- ⑪宝蔵院流高田派槍術
一箭順三、美馬博幸、粕井隆、土屋明洋、尾野好司、高橋英樹、若林幹雄、西本昌永、長田眞男、船谷哲司
- ⑫卜傳流剣術
小山秀弘、小山隆秀、小山花恵、小山秀晃
- ⑬竹内流柔術日下捕手開山
竹内藤一郎、竹内久朋、長尾春義、氏房功、八木隆志
- ⑭柳生心眼流體術
梶塚靖司、寺久保敦也、小林茂雄、高橋慶太、谷野文弥、坂本哲朗、吉岡一紀、佐藤匡生、前田樹里、藤澤勝也
- ⑮鹿島神傳直心影流剣術
岩佐勝、若林悟、中平尊、藤原佳太
- ⑯二刀神影流鎖鎌術
島村収、細川隆、小松英正、森本誠
- ⑰天道流薙刀術
木村恭子、針本佳世子、佐藤孝子、田室美知子、浦田育子、廣瀬幸子、額原和代、福田啓子、玉置捷子、和田久代、熊澤八穂、野崎恵美、酒井美幸、近藤圭恵、細井優子、木村有里、小嶋弘美
- ⑱円心流居合拵物斬剣法
増本孝和、高槻幸雄、山村行仁、北野光一、梅田こずえ、松田純、川岸正三郎、小畑慶幸
- ⑲神道無念流剣術
小川武、中島宏之、萩崎昭、中館秀光、落合毅、土屋正則、牧戸昌邦、玉根純也、山谷怜子、中野雅浩、中村唯
- ⑳大東流合気柔術琢磨会
森恕、三木清明、横原恒夫、藤江美智雄、谷井健一、駒井健太郎、立花巨
- ㉑直心影流薙刀術
関根恵児、伊原啓子、池谷さち子、山口三千子、板垣カヨ子、西郷恵子、松岡陽子、関久代、渋谷桂子、伊原曜子、大石洋子、谷口克美、杉本恵子
- ㉒野田派二天一流剣術
荒本章博、大群和史
- ㉓尾張貫流槍術
加藤伊三男、神戸信夫、下村幸裕、下村直樹、赤羽根大介、森治紀、新垣タニエル、神原会弥、山内一統、木村凌弥、福島宝寿
- ㉔氣樂流柔術
飯島文夫、飯島雅史、飯島幸、川島輝之、反町明大、大塚良太郎、船田清
- ㉕鹿島新當流剣術
今井淳也、小松崎政史、横尾廣美、内田嘉昭、橋本大
- ㉖荒木流軍用小具足
豊田良樹、千葉明、栗林征喜、戸叶秀俊、坂本浩一、片桐克彦、河野真一、浅輪晃一、鶴岡嘉治、鶴岡優子、高橋杏奈、鈴木優輔
- ㉗糸洲流空手
坂上節明、楠原清誌
- ㉘長谷川流和術
桑原巡、逸見彰一、宮下邦博、石原賢一、倉田勝己、小野晴佳
- ㉙立身兵法
加藤紘、加藤敦、齊藤勝、江尻裕介、圖司行克、八角敏正、山崎恒弥、渡辺紳一、栗原実、梅谷咲太郎、大畑勇氣
- ㊀戸田派武甲流薙刀術
建入久代、介川隼人
- ㊁鐘捲流抜刀術
橋原弘之、柚木一男、河野広司
- ㊂和道流柔術拳法
大塚博紀、寺田英視、坂巻明、押田良光、井上義孝、金澤紀代子、三田篤、マルコ・ブルサーチ、ロヒヤ・ファンデル・フェルデ
- ㊃小野派一刀流剣術
矢吹裕二、石崎徹、庄嶋卓司、中山竜一
- ㊄為我流派勝新流柔術
根本憲一唯之、谷啓二、大和久正幸、村木浩治、沢幡伸男、坪田敏成
- ㊅森重流砲術
青木孝、角替進、齊藤一博、片山直巳、石井和己、市川恵一、佐野翔平、小林透、芦川正彦

（以上35流派、敬称略）

大会の模様をYouTubeでライブ配信

本大会の様子は、動画配信サイトYouTubeの「公式」公益財団法人日本武道館チャンネルでライブ配信された。これによって来場できない方々も当日の様子を視聴できるようになった。

本大会における視聴回数は合計1万5417件に上った（令和2年2月17日9時現在）。

日本武道館は、本大会のライブ配信をまとめた動画を本チャンネルで



大会当日にライブ配信された映像

▼パソコンで視聴される方はこちら



公益財団法人日本武道館

で検索

▼スマートフォンで視聴される方はこちら



<https://www.youtube.com/channel/UCe3FE8e-lETgti4Z8xseGRg/featured>

公開する予定。ライブ配信は今後の武道大会等でも行い、武道の普及や情報発信に活用する。
（「公式」公益財団法人日本武道館）をスマートフォンでご視聴の方は左のQRコードを読み込んでください



日本武道館の単行本

お問い合わせ・ご注文は日本武道館出版広報課までどうぞ！

（公財）日本武道館 月刊「武道」編集部
〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
TEL 03-3216-5147 FAX 03-3216-5158
<http://www.nipponbudokan.or.jp>



空手道 その歴史と技法



小山正辰 和田光二 嘉手苺徹 著

空手は沖縄で発祥し、日本本土に伝承され、今や世界のKARATEとなった。その歴史と技法を、那覇系剛柔流の小山正辰氏、首里系松濤館の和田光二氏、沖縄空手研究の第一人者である嘉手苺氏の共同執筆で重層的に紐解く。嘉手苺氏が発見した剛柔流の開祖・宮城長順の最新の事実、小山・和田の両世界チャンピオンのエピソードなども満載。空手の真髄に迫る白眉の一冊。

四六判・上製・568頁・本体2,400円＋税

幸せについて考えよう



—武道指導者へのメッセージ

元衆議院議員・榎樹舎主 小野 晋也 著

混迷の時代・社会において、幸福な人生とは何か。一人ひとりが、そして社会全体が前向きに歩んでいくため、に必要な事は…。先人の言葉や古今東西の幸福論に触れながら、様々な困難を乗り越え、切り開くためのヒントを「武道」の精神に求めた出色の一冊。

四六判・上製・392頁・本体2,400円＋税

学校武道の歴史を辿る



筑波大学名誉教授 藤堂良明 著

江戸時代の藩学教育に遡る学校武道の歴史。明治維新を迎え武術は衰退したが、近代化の過程で武道が「人間形成の道」として学校制度のなかに組み込まれ発展した。太平洋戦争後に武道は全面禁止となるが、それを乗り越え「格技」として復活、平成20年には「中学校武道必修化」が実現した。学校武道の歴史を丹念に辿り、今後のあり方を探る。

四六判・上製・354頁・本体2,400円＋税

合気道に生きる



合気道九段 多田 宏 著

昭和初期に生れ、戦後の早大生時代に植芝盛平、植芝吉祥丸、船越義珍、中村天風、日野正一の諸先生の教えを受け、合気道の稽古を生涯の道と志す。昭和から平成への激動の時代に、本部道場師範を務め、各大学に合気会を創設、自らの道場も主宰し、さらに欧州各国への普及に尽力。合気道に活きた泰斗の軌跡を余すところなく示す珠玉の一冊。

四六判・上製・402頁・本体2,400円＋税

好評発売中

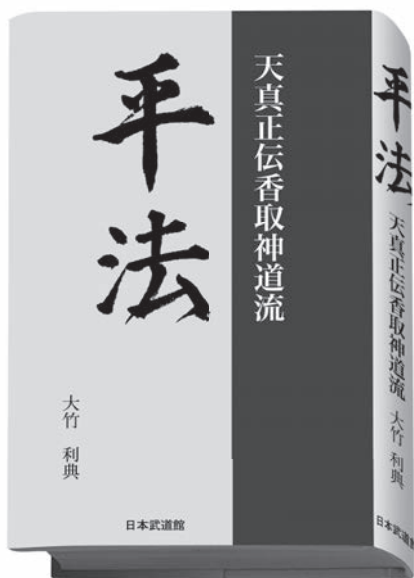
平法

天真正伝香取神道流 師範

大竹利典 著

天真正伝香取神道流

近世剣術の源流として知られる天真正伝香取神道流の全伝を受け継ぐ著者が、その膨大な武と知を語る。



(四六判・上製・296頁)

香取神道流の歴史、剣術・居合術・薙刀術・手裏剣術などの武術、方術・築城術などの遁甲術や軍学兵法を、伝書を基に紹介。
さらに、七十年近い修行人生を振り返り、武を志す全ての者に必要な「平法（へいほう）」の思想について語る。

目次

- 序章 香取神宮御由緒
- 第一章 歴史篇
 - 第一節 経津主大神の真伝、「天真正伝香取神道流」
- 第二章 修行篇
 - 第一節 入門
 - 第二節 林先生に師事
 - 第三節 香取神道流最初の異国の門弟
 - 第四節 流祖生誕六百年記念祭
- 第三章 技術篇
 - 第一節 剣術
 - 第二節 居合術
 - 第三節 棒術、薙刀術、槍術、手裏剣術
 - 第四節 柔術
 - 第五節 忍術
 - 第四章 軍学兵法篇
 - 第一節 遁甲術
 - 第二節 刀剣と密教
 - 第五章 思想篇—全ての修行者へ—
 - 第一節 修行者の心得
 - 第二節 兵法は平法なり—平和を願う偉大なる教え—



編集・発行 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページ <http://www.nipponbudokan.or.jp>

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ！

TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

日本武道館発行の単行本



日本の武道

日本武道館 編

(B5判・上製・箱入・526頁)



BUDŌ: THE MARTIAL WAYS OF JAPAN

日本武道館 編

翻訳・編集：アレキサンダー・ベネット

(B5判・上製・DVD付・336頁)



今、なぜ武道か

—文化と伝統を問う—

福島大学教授

中村 民雄 著

(四六判・上製・370頁)



武道における 身体と心

神戸学院大学教授

前林 清和 著

(四六判・上製・370頁)



(B5判・上製・箱入・462頁)

古流武術研究家

横瀬

知行 著

日本の古武道

直接取材による2000枚の写真と豊富な資料で古流の全貌を紹介！

日本の古武道には長い歴史と伝統があり、流祖に始まる一子相伝の脈々たる生命の大河を貫く知恵と経験が一つの見事な体系となって現代に伝えられている。

全国剣道指導者研修会が10年の節目迎える

参加者延べ3800名、来年度から次期学習指導要領に対応して東西2ブロックで実施



新聞紙切り：剣道授業における楽しい動機付け
(剣道の要素を感じ取らせる遊びの体験)



手刀による送り足：剣道に必要な動きづくり



竹刀を用いた「打ち方と打たせ方」：
剣道具のない授業例②

中学校武道必修化の充実に向けて、平成22年度から実施されてきた全国剣道指導者研修会（主催Ⅱ日本武道館、全日本剣道連盟、全日本学校剣道連盟）は、今年度（令和元年度）で10年目を迎えた。今年度をもって47都道府県すべてで開催され、参加者は保健体育科教員を中心に、延べ3800名に上った。来年度からは東西2ブロックで次期学習指導要領に準じて実施し、内容のさらなる充実を図っていく。

平成22年度に現行の学習指導要領に対応して始まった全国剣道指導者研修会は、中学校武道必修化の充実に向け、全国の中学校で剣道の導入および効果的な指導が展開されるよう、主に中学校の教員（保健体育科及び他教科）を対象に開催され、今年度で10年目を迎えた。

全国9ブロックのうち、毎年5カ所で開催されてきた本研修会は、今年度分をすべて終了。これをもって全国47都道府県すべてで実施されたことになり、全国の中学校教員に共通した指導法が教示された。

研修会では、講師たちが共通理解をもって、剣道具や竹刀を使わなく

ても剣道の動作や特性を体験できる「楽しい動機付け」や「剣道に必要な動きづくり」、「音楽を活用した授業例」（リズム剣道）など、楽しく、効果が上がる授業例を紹介。参加者も延べ3800名に達した。

来年度からは東西2ブロックに分けて新たにスタートし、中学校武道必修化のさらなる充実に向けて、剣道指導者の資質向上を目指す。



平成22年度から本研修会の講師を務める、軽米満世（かすみみつよ）全日本剣道連盟常任理事と佐藤義則（さとうのり）全日本学校剣道連盟常任理事に10年間の歩みと、次年度の目標を伺った。

◎ 軽米満世かるこめみつよ全日本剣道連盟常任理事



「この研修会を続けてこられたことに対し、日本武道館、各都道府県剣道連盟、主管学校剣道連盟にお礼申し上げます。必修化実施当初の参加者の感想は『剣道具がない』『指導者がいない』といったものでした。これらを参考にどの学校でも実践できるよう、内容を見直しました。最近は『深い学びを実現するためにグループ学習の授業例が参考になった』『授業が楽しく、高校で剣道部に入る生徒がいる』などの声が上がっています。今後は授業の質を上げることが講師陣としての課題です」

◎ 佐藤義則さとうよしのり全日本学校剣道連盟常任理事



「この研修会を通して『剣道は難しい』というイメージは取り払われたと思います。来年度からは東西2ブロックに分かれますが、次期学習指導要領に沿いながら、今までの10年間の積み重ねを踏まえて、進化させていきたいです」

〔令和元年度全国剣道指導者研修会の内容〕

■ 1日目

▽講義「中学校保健体育における武道（剣道）の学習について」「安全指導について」「体罰・暴力によらない指導」
▽剣道授業実践発表
▽「中学校武道必修化指導書」DVD「武道編」視聴

▽実技1「剣道授業における楽しい動機付け」
▽実技1-2「剣道に必要な動きづくり」
▽実技2「剣道具のない授業例(1)」（礼法〔所作・基本動作〕、木刀による授業例・木刀による剣道基本技稽古法基本1〜5の一斉指導、木刀による剣道基本技稽古法のグループ学習法）

▽研究協議「剣道授業の現状と課題」
■ 2日目
▽実技3「剣道具のない授業例(2)」（竹刀による授業例・相手の動きに応じた基本動作）
▽実技3-2「剣道具のない授業例(3)」（音楽を活用した授業例・リズム剣道）
▽実技4「剣道具のある授業例(1)」（剣道具の段階的着装と結束、基本となる技の段階的指導・相手の動きに応じた基本動作）
▽実技4-2「剣道具のある授業例(2)」（基本動作）
▽実技5「剣道具のある授業例(2)」（応じ技〔抜き技・面抜き・胴、ごく簡単な試合Ⅱ〕、応じ技による判定試合、約束練習、自由練習、簡易な試合〔ポイント制の試合〕、剣道具の結束）
▽指導と評価

全国剣道指導者研修会開催一覧

年度	日程	開催地	開催場所	人数	年度	日程	開催地	開催場所	人数
平成22年度(2010)	8月28日・29日	静岡県藤枝市	静岡県武道館	77	平成27年度(2015)	10月24日・25日	愛媛県松山市	伊予市立伊予中学校	67
	9月11日・12日	北海道札幌市	NTT北海道セミナーセンタ	71		10月31日・11月1日	群馬県前橋市	群馬県総合スポーツセンター	89
	10月16日・17日	福岡県福岡市	福岡県立スポーツ科学情報センター	73		11月21日・22日	島根県松江市	島根県立武道館	75
	10月30日・31日	岩手県盛岡市	岩手県営武道館	81		12月19日・20日	滋賀県大津市	滋賀県立武道館	81
	11月13日・14日	東京都千代田区	明治大学駿河台校舎リハビリタワー	78	平成28年度(2016)	3月5日・6日	福井県福井市	福井県立武道館	75
平成23年度(2011)	10月15日・16日	徳島県徳島市	徳島市立徳島中学校体育館	75		10月22日・23日	愛知県名古屋	愛知県武道館	81
	10月29日・30日	奈良県奈良市	奈良市中央武道場	79		10月29日・30日	富山県砺波市	庄川体育センター	86
	11月5日・6日	長野県坂城町	坂城町文化センター体育館	74		11月29日・20日	鳥取県米子市	鳥取県立武道館	75
	12月3日・4日	広島県福山市	福山市緑町公園屋内競技場	78		11月26日・27日	宮城県仙台市	宮城県武道館	78
平成24年度(2012)	1月28日・29日	兵庫県姫路市	兵庫県立武道館	78	平成29年度(2017)	1月28日・29日	宮崎県宮崎市	宮崎県体育館	86
	9月15日・16日	北海道札幌市	NTT北海道セミナーセンタ	56		10月21日・22日	香川県高松市	香川県立武道館	73
	9月29日・30日	三重県松阪市	中京大学体育館	82		11月11日・12日	栃木県小山市	白鷗大学	79
	10月27日・28日	千葉県勝浦市	日本武道館研修センター	78		11月25日・26日	福島県福島市	あづま総合体育館	81
	11月17日・18日	秋田県秋田市	秋田県立武道館	79	平成30年度(2018)	12月2日・3日	京都府京都市	京都市武道センター	78
平成25年度(2013)	1月19日・20日	鹿児島県鹿児島市	鹿児島アリーナ	79		2月17日・18日	大分県別府市	別府市民体育館	71
	10月13日・14日	高知県高知市	高知県立高知工業高等学校	73		10月13日・14日	佐賀県佐賀市	佐賀県総合体育館	75
	10月19日・20日	新潟県上越市	上越市教育プラザ	83		11月17日・18日	沖縄県那覇市	沖縄県立武道館	52
	11月30日・12月1日	山口県山口市	維新百年記念公園スポーツ文化センター	81		11月24日・25日	岡山県総社市	サントピア岡山総社	80
平成26年度(2014)	2月8日・9日	神奈川県横浜市	横浜市立港中学校	45	令和元年度(2019)	12月1日・2日	茨城県水戸市	茨城県武道館	83
	2月22日・23日	長崎県長崎市	長崎県立総合体育館サブアリーナ	76		1月19日・20日	和歌山県和歌山市	和歌山ビッグウエーブ	77
	9月13日・14日	北海道札幌市	NTT北海道セミナーセンタ	62		10月5日・6日	大阪府大阪市	大阪府立東淀川高等学校	79
	9月27日・28日	岐阜県岐阜市	岐阜メモリアルセンター	86		10月19日・20日	石川県金沢市	石川県立武道館	85
	10月25日・26日	埼玉県熊谷市	埼玉県立熊谷女子高等学校	74		11月16日・17日	山梨県甲府市	山梨県小瀬スポーツ公園武道館	67
	11月15日・16日	青森県弘前市	青森県武道館	80		11月30日・12月1日	山形県上山市	三友エンジニア体育文化センター	80
	1月31日・2月1日	兵庫県姫路市	兵庫県立武道館	80		1月25日・26日	熊本県熊本市	熊本市総合体育館・青年会館	77

山神眞一 著

(香川大学教授・同学部長、医学博士、剣道教士八段)

役に立つ少年剣道指導法

好評発売中

少年剣道指導の現場で役に立つ月刊「武道」好評連載を単行本化。
現代の少年剣道が抱える様々な問題点に対して、長年教育現場で培った筆者の視点から解決の糸口を探っていく。少年剣道指導者必読の一書。
付録のDVDには、写真では伝え切れなかった実技関連の部分を収録時間115分を超える映像で紹介。

解説DVD付属!



A5判・並製・
256頁・DVD付・
本体2400円＋税

目次

第一章 一眼／子どもと少年剣道の今を眼る
現代の子どもの体と心を見つめ直す／少年剣道の現状と課題／少年剣道に対する保護者の声

第二章 一足／少年剣道の足跡とこれから
現代剣道復活の道程とこれからの少年剣道／剣道の国際化と少年剣道の未来／少年剣道拡大の秘密を探る

第三章 三胆／指導者の胆力を求めて
少年剣道における指導者の在り方／文武両道と少年剣道／コミュニケーション力と人材育成の極意

第四章 四力／技の力を学ぶ
剣道のアイズブレイキング／礼法について／立礼と座礼／木刀・竹刀を使用した構えと素振りの対人的指導法／切り返しの際の段階的指導法／基本打突の打ち方と打たせ方／連続技の打ち方と打たせ方／払い技の打ち方と打たせ方／引き技の打ち方と打たせ方

第五章 残心

海外での剣道事情／中学校における剣道授業
あとがき

編集・発行 公益財団法人 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページ <http://www.nipponbudokan.or.jp>

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ!

TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

◎好評発売中

筑波大学教授 酒井利信 著
四六判・上製・346頁・本体2400円＋税

刀剣の歴史と思想

刀剣を単なる武器としてではなく、
神聖なものとして捉える思想とは何か――



題字揮毫―鹿島神宮 鹿島則良 宮司

日本独自の展開をみせてきた刀剣に関する思想を、中国、朝鮮など、東アジアにまでルーツをたどりながら、確かな史料を基に考察。古事記・日本書紀に語られる神話、平家物語・太平記などにみられる三種の神器にまつわる記述、鹿島新當流、示現流に伝わる伝書といった歴史的文献を読み解き、日本刀剣思想のオリジナリティを浮かび上がらせる。

目次

序章	探求の旅をはじめににあたって
第二章 刀剣の歴史	
第一節	刀剣の源流
第二節	古代中国の宝剣伝説 太阿の剣
第三節	干将莫耶の宝剣伝説
第四節	高祖の斬蛇剣
第五節	道教と剣
第六章 古代朝鮮の刀剣思想	
第一節	神話的イメージの形成
第二節	神話的世界の形成と剣神の誕生
第三節	天より降る剣 節霊剣
第四節	天地を繋ぐ剣 草薙剣
第三章 信仰のなかの刀剣思想	
第一節	祀る剣 祀られる剣
第二節	辟邪の呪剣
第三節	うけいの呪術と剣
第四章 修験道と剣	
第一節	三種の神器の不思議
第二節	「平家物語」にみる三種の神器
第五章 「太平記」が語る草薙剣像	
第一節	近世剣術における刀剣思想
第二節	剣術伝書に語られる日本神話
第三節	新当流にみる霊剣の技術
第四節	示現流にみる心の利剣
第六章 近現代における刀剣思想の展開	
第一節	近代以降の刀剣思想
第二節	古代と現代を繋ぐ刀剣
終章	鹿島神宮日本刀奉納鍛錬
	「稽古照今」

編集・発行 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページ <http://www.nipponbudokan.or.jp>

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ！

TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158



宗昂馬第三世師家



宗由貴第二世師家

40年ぶりに 少林寺拳法グループ代表が交代 発祥の地・香川県多度津で師家承継式を挙行

本年1月1日、少林寺拳法グループは、宗道臣初代師家以来の法統を宗由貴第二世師家から受け継いだ宗昂馬氏が第三世師家に就任した。承継が生前に行われるのは初めてのことで、40年ぶりにグループの代表が交代した。

これに伴い、1月12日、少林寺拳法師家承継式が金剛禅総本山少林寺において約1500名、祝宴がオークラホテル丸亀において約200名が列席し、開催された。

◆少林寺拳法師家とは

師家とは、社会貢献を目的とする少林寺拳法の運動を広めるため、全国の指導者にとつての精神的支えとなり、開祖・宗道臣の志を未来へ繋いでいく要となるただ一人の最高指導者。

少林寺拳法師家の承継が生前に行われるのは今回、初めてとなる。

宗由貴第二世師家は配布された資料で「師家は終身となつていますが、自分がまだやれるから！ではないけない。（中略）若い世代には少林寺拳法という素材をアレンジし、進化させることを忘れないでほしいです」と語っている。

■少林寺拳法師家承継式

午前10時より香川県多度津町の金剛禅総本山少林寺で新春恒例の法会に続き、少林寺拳法師家承継式が執り行われた。本堂と講堂に集まった約1500名が見守る中、法具（絡子・念珠・霊符・印璽〔師家印〕）の承継の後、親子ならびに高段位の修行者による演武奉納が行われた。

宗昂馬第三世師家は、師家就任挨拶で「人々に生きる力と勇気をもたらすため、社会に希望と幸せをもたらすため、運動の先頭に立つて、グループ全ての同志の精神的支柱となるよう精進します」と力強く決意を述べた。

■少林寺拳法師家承継 祝宴

午後1時30分からオークラホテル丸亀で祝宴が行われ、「多度津京極少林寺拳法太鼓」で幕を開けた。



張玉萍
中華人民共和國
駐大阪総領事館副総領事



大澤隆
金剛禪総本山
少林寺管長

第三世師家 宗昂馬氏の プロフィール

1985年1月、宗由貴氏の次男として生まれる。
高校卒業後、2003年4月にイギリスに語学留学。その後、アメリカに渡りペンシルベニアに3年半留学し、2006年4月に帰国。

2009年4月より少林寺拳法グループ各法人・団体に移籍し現在に至る。

2020年1月1日、宗由貴第二世師家より少林寺拳法師家を承継し、第三世師家となる。



列席者に挨拶をする宗昂馬第三世師家（中央）



宗昂馬第三世師家（左から4人目）を囲んで



祝宴では「多度津京極少林寺拳法太鼓」が披露された

まず大澤隆金剛禪総本山少林寺管長が発起人挨拶を述べ、師家承継にまつわる映像が上映された。
続いて、張玉萍^{ちやうぎよんけい}中華人民共和国駐大阪総領事館副総領事が祝辞を述べた。引き続き、鏡開きが行われ、小山勇愛知県少林寺拳法連盟会長（中日新聞社常任顧問）の発声で祝杯をあげた。歓談に移り、由貴第二世師家が昂馬第三世師家とともに招待者のテーブルを回り、御礼を述べ、紹介を兼ねて言葉を交わした。

1980年の宗道臣開祖の急逝に



に伴い、由貴氏が第二世師家を承継して以来、開祖の孫である昂馬氏が今回40年ぶりに第三世を承継することとなった。

昂馬氏は師家を受け継いだことで少林寺拳法グループの代表となり、同時に一般社団法人 SHORINJI KEMPO UNITY 代表理事、少林寺拳法世界連合会長に就任した。これを受け、40年にわたり世界40カ国に広がった少林寺拳法グループを率いてきた由貴氏は、グループの相談役として、今後、昂馬氏のサポートにまわることとなる。



伊藤和明中拳士三段（右）
と伊藤歩准拳士初段

見事な親子演武で大役を果たす

父..非常に緊張しましたが、このような記念すべき日に親子で演武できたことは、一生の思い出になりました。
子..緊張して少し失敗してしまいました。どんな時にも最高の演武ができるようにしたいです。

好評発売中！

漫画家・別府大学客員教授

田代しんたろう 著

マンガ・武道のすすめ

B5判・並製・236頁・本体1000円＋税



月刊「武道」誌上で好評連載中の「マンガ・武道のすすめ」を単行本化！

柔道・剣道・弓道・相撲・空手道・合気道・少林寺拳法・なぎなた・銃剣道・古武道の各先生方に毎回直接インタビュー取材し、武道の良さ、すばらしさをおもしろく、わかりやすく、描いています。

大人も子どもも読んで楽しく、ためになる武道教養マンガ。

《目次》

序章 武道のすすめ

松永光（日本武道館）／高村正彦（武道議員連盟）／有松育子（文部科学省）

第1章 いざ！ 武道の世界へ

第2章 柔道のすすめ

大澤慶己／長谷川博之／腹巻宏二／吉村和郎／山内直人

第3章 剣道のすすめ

森島健男／角正武／千田重光／井上茂明／小林知洋

第4章 弓道のすすめ

森永良雄／吉本清信／宇佐美義光／柴田猛／大和田正孝

第5章 相撲のすすめ

塔尾武夫／住吉和則／下村勝彦／安井和男

第6章 空手道のすすめ

金城裕／長谷川伸一／安里廣之／山本英雄／大石武士

第7章 合気道のすすめ

多田宏／磯山博／菅沼守人／珠玖仁

第8章 少林寺拳法のすすめ

合田清一／阿達美恵子／八巻哲／松浦哲也

第9章 なぎなたのすすめ

澤田花江／梶山武子／一川治子／左村美穂子／大津博美

第10章 銃剣道のすすめ

桑原正治／兼坂弘道／遠藤守／石川慎也／北村弘之

第11章 古武道のすすめ

竹内藤十郎（柔術）／笹森建美（剣術）／加藤伊三男（槍術）

小笠原清忠（馬術）

日本武道館の歴史

編集・発行 公益財団法人日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページ <http://www.nipponbudokan.or.jp>

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ！

TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

日本武道館発行の単行本



今、なぜ武道か —文化と伝統を問う—

福島大学教授
中村 民雄 著
(四六判・上製・370頁)



BUDŌ: THE MARTIAL WAYS OF JAPAN

日本武道館 編
翻訳・編集:アレキサンダー・ベネット
(B5判・上製・DVD付・336頁)



武道 子どもの心をはぐくむ

早稲田大学教授・教育カウンセラー
菅野 純 著
(四六判・上製・410頁)

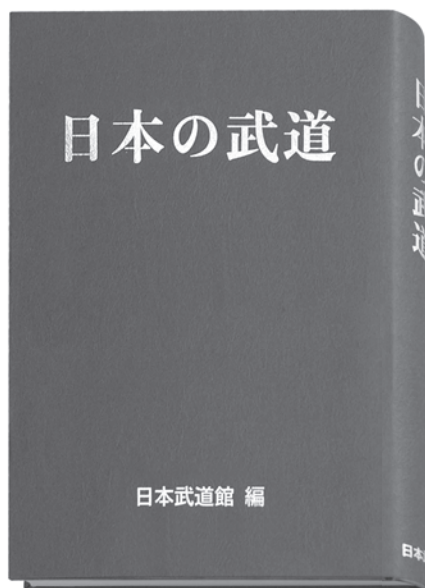


大先輩に聞く

月刊「武道」記者
田谷 将俊 著
(四六判・上製・376頁)

一千数百年の歴史を有する
武道の全容をこの一冊に集大成!!
武道小百科事典としても役立つ
充実した巻末の資料編!!

柔道・剣道・弓道・相撲・空手道・合気道・
少林寺拳法・なぎなた・銃剣道をはじめ、
各武道統括団体の全面協力によって完成!!



(B5判・上製・箱入・526頁)



日本武道館 編

日本の武道

日本の武道のすべてを網羅した武道関係者必携の書



少林寺拳法の採択に向け 効果的な授業づくりを研究 中学校武道授業推進特別研修会

第3回中学校武道授業推進特別研修会（主催：少林寺拳法連盟）が、1月25日・26日の2日間、少林寺拳法東京研修センターに全国から32名が参加して開催された。

本研修会は、スポーツ庁委託事業である「武道等指導充実・資質向上支援事業」として、各都道府県教育委員会や学校と都道府県少林寺拳法連盟（武道団体）が連携し、保健体育科教員や外部指導者の資質向上に寄与することを目的に実施された。

■1日目（1月25日）

●開講式

倉本巨康一般財団法人少林寺拳法連盟振興普及部次長から、日本を取り巻く国際情勢や取り組むべき課題のほか、武道授業への連盟の関わり方について説明があった。

●講義1

中島正樹講師が、本研修会プログラムの概要や中学校武道授業の最新情報、武道モデル推進校での活動状況などについて講義を行った。
今後は地域への支援強化や要望に応えていけるよう、更に研修内容を精査していくと展望を述べた。

●特別講義1・2

元早稲田大学少林寺拳法部監督

で、現役の公立中学校長が特別講師として講義と実技を行った。

特別講師は、新学習指導要領の解説を通して、中学校武道教育の総論と評価基準などを丁寧に説明。少林寺拳法は一貫性の中で必要性の伴う動きであれば、比較的単純で実用性が高く、武道授業に採択されやすいと指摘した。さらに短時間で効率よく指導するために、指導内容を欲張らないことが重要と説明した。

また、①体ほぐし運動を行う際、少林寺拳法の動きにつながる動作を混ぜる、②柔法で相手の手首を掴む動作の際、生徒の抵抗感を減らすために、お互いの手首を握りバランスをとるゲームを取り入れる——など具体的に指導した。

次の授業までに相手に手首を持たれた時の対処法を生徒に考えさせ、

中学校武道授業推進 特別研修会 日程表

1 月 25 日 (土)	
13:00	開講式 「本事業の目的について」
13:15	〔講義 1〕 ①少林寺拳法授業の意義・目的 ②現状と課題
14:30	〔特別講義 1〕 新学習指導要領解説と武道授業づくり
15:30	〔特別講義 2〕 新学習指導要領の模擬授業
16:35	〔講義討議 1〕 アクションプラン
18:00	〔討議〕 支援体制の確立
18:50	終了
1 月 26 日 (日)	
8:30	集合、更衣
8:45	調息法 ～授業で活用～
9:00	〔実技 1〕 基本動作の指導法 〔実技 2〕 授業の導入をつくる 〔実技 3〕 保健体育科教員／未経験者への指導法（研修の仕方）
11:20	〔講義討議 2〕 アクションプラン発表
12:30	閉講式



教具を使用した指導法の様子



班ごとに授業採択に向けた課題を討議する参加者

週 1 回の武道授業（計 4 時間想定）を「反転学習」と捉えれば、実質的に 1 カ月にわたって少林寺拳法を意識させることができる、とした。

●講義討議 1

安田智幸講師が、少林寺拳法が授業採択に至るまでの高知県連盟の取り組みを紹介した。その後、参加者を班分けし、採択に向けての方策や課題についてそれぞれ討議した。

■2 日目（1 月 26 日）

●調息法～授業での活用～

合田雅彦講師が、授業に集中して取り組むためのツールとして「調息法」や、場づくりの重要性について解説した。

●実技 1・2・3

日本武道協議会発行の『中学校武道必修化指導書』や少林寺拳法連盟発行の指導の手引に準拠した指導法が紹介された。

小井寿史講師は、基本の突き・蹴りの当てる感覚を養うための教具を使った指導法を紹介した。

高坂正治講師は、特別支援学級での自身の指導経験や教員を目指す学生に対する講義内容などを紹介。少林寺拳法指導者が、未経験の保健体育科教員に対して、どのように研修していくかについて実技を交えて解説した。

●講義討議 2
班ごとに作成した授業採択に向けた行動計画が発表された。中には「少林寺拳法を通じて、どのように社会に貢献していくかを考えていきたい」など、授業から発展して地域との連携まで見据えた意見もあった。

●閉講式

最後に中島講師が「現場との擦り合わせを行い、採択に向けた推進活動が重要になります」とまとめを述べ、2 日間の研修会を終了した。



好評発売中

『人、人、人、
すべては人の質にある……』
少林寺拳法創始者・宗道臣先生に
直接手ほどきを受けた著者入魂の
武道教育論！

可能性の

種子たち

『^{はく}魄』は生きるための生命力――
『^{こん}魂』は人間を善に導く原動力――

魂魄(こころ)が健全に育てば、豊かな感性や
意思力、行動力などが備わり、やがて得るであ
る多くの知識を、智慧とすることができ、
子どもたちの躍動の一つひとつが、可能性の種
子の芽生えなのである。

――魂魄(こころ)を育てる――

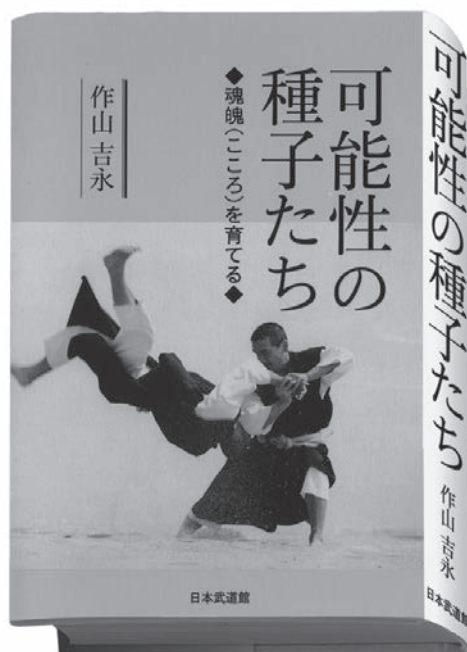
金剛禪総本山少林寺茨城高秋道院長

作山吉永 著

(四六判・上製・338頁)

主な目次

- 第1章 少林寺拳法／第2章 直心是道場／第3章 師事／
- 第4章 マイ・アメリカ／第5章 可能性の種子、芽吹く／
- 第6章 嵩山少林寺／第7章 魂魄(こころ)を育てる／
- 第8章 新しい扉を開く



編集・発行 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページ <http://www.nipponbudokan.or.jp>

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ！

TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

日本武道館発行の単行本



日本の武道

日本武道館 編

(B5判・上製・箱入・526頁)



BUDŌ: THE MARTIAL WAYS OF JAPAN

日本武道館 編

翻訳・編集:アレキサンダー・ベネット

(B5判・上製・DVD付・336頁)



武道 子どもの心をはぐくむ

早稲田大学教授・教育カウンセラー

菅野 純 著

(四六判・上製・410頁)



大先輩に聞く

月刊「武道」記者

田谷 将俊 著

(四六判・上製・376頁)

マンガ・武道のすすめ

マンガ・武道のすすめ
田代しんたろう



(B5判・236頁)

漫画家・別府大学教授 田代しんたろう 著

月刊「武道」誌上で好評連載中の「マンガ・武道のすすめ」を単行本化！
柔道・剣道・弓道・相撲・空手道・合気道・少林寺拳法・なぎなた・
銃剣道・古武道の各先生方に毎回直接インタビュー取材し、武道の良さ、
すばらしさをおもしろく、わかりやすく、描いています。
大人も子どもも読んで楽しく、ためになる武道教養マンガ。



少林寺拳法は4話を掲載！





月刊「武道」は、全国の書店で販売しています。